

「全校朝読～当たり前な朝の時間～」

1 学校の概要

- (1) 福島県石川郡石川町字高田200-1
- (2) 5クラス 127名 (令和6年5月1日現在)
- (3) 図書蔵書数 28,574 (令和6年5月1日現在)

2 読書活動推進の取組内容

① 図書館の環境整備

- ・ 新刊案内など、生徒への周知を徹底している。
→毎月発行している図書館だよりや新刊情報を掲示するなど、本に興味を持ってもらえるような工夫をしている。また、新刊本やおすすめ本は常に手に取りやすい場所に開架しており、このことは生徒たちにも定着している。
- ・ 4月～9月まで図書館で貸し出された本のランキングを紹介している。
- ・ 出入口などに季節を感じさせるような飾り付けや掲示などを行うことで図書館への利用につながるよう工夫している。

② 「朝の読書活動」について

本校は県内でいち早く「朝の読書活動」に取り組んでおり、今年度で28年目となった。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 好きな本を読む② 毎日読む③ みんなで読む④ ただ読む |
|--|

本校の「朝読」は、上記の「朝読4原則」に従い、朝のSHR後の8時40分～50分までの10分間、各クラスで担任も参加する形で行われている。本を忘れていたり選ぶのに悩んだりする生徒もいるため、各クラスに「朝読ボックス」(写真①)を配置し、生徒が必ず本を手にとることができる環境を整えている。

毎年、全校生徒を対象とした朝読アンケートを独自に実施している。昨年度の結果は「心が落ち着く」(41%)が最も高く、次に「集中力が上がった」(33%)、「読書の楽しさがわかった」(31%)の順となり、朝読を通して生徒自身が効果を感じていることがうかがえた。

(写真①)



③ ビブリオバトルへの参加

ビブリオバトル福島県大会県中地区大会に代表生徒1名が参加した。「国語表現」の授業を選択している生徒（2年生23名、1年生19名）から校内選考を経て代表者を選出した。決勝には進めなかったが、年度末発行の「図書館報」にも体験記を掲載し、全校生徒へビブリオバトルを周知する機会とする予定である。

④ 図書館だよりの発行（全生徒・教職員へ配布）

- ・毎月、「図書委員からのおすすめ本」を紹介したり、各科の先生方から「高校生に読んで欲しい本」をテーマに本を紹介してもらったりしている。各科の先生方による本の紹介は、思い入れなどやエピソードを交えながら書かれており読書意欲が持てるような内容になっているとともに、生徒だけでなく教職員にとっても楽しみな読み物となっている。また、今年度は校長先生が毎月、本校にある本などの書評を書いてくださっており、内容も一層充実したものとなっている。
- ・「図書館だよりの」と「図書館報」それぞれにおいて、図書委員を始めとする生徒及び図書部以外の先生方にも多く携わっていただく機会となるよう心掛けた。

⑤ その他

電算化システムの導入が開始されたことに伴い、今年度はラベル貼付作業が図書委員の主な仕事となった。図書委員の尽力により目標通り電算化による貸出を秋から開始することができた。その他、朝読ボックスの点検、図書館だよりの作成など本に興味を持ってもらえるような活動を図書委員を中心に活発に行うことができた。また、今年度から新たに、登下校中に本が濡れたり汚れたりすることを予防することを目的に、希望する生徒に対し、本を入れるビニール袋を貸し出すことにした。このことを通して本の大切さなども伝えることができた。

来年度も、本の整理・ラベル貼付作業など図書委員の協力のもと引き続き行っていきたい。